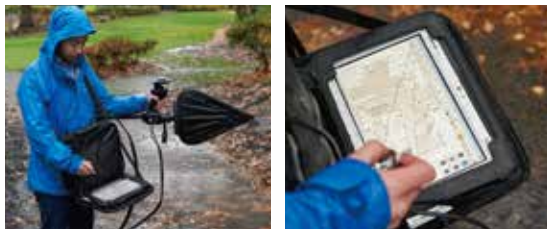




テクトロニクス 様

Tektronix®

PCと接続して使用するUSBスペクトラム・アナライザ。



タブレット10.1型 FZ-G1

タフパッド採用の背景

リアルタイム表示性能を実現するために、USB3.0とIntelのcore i5以上のプロセッサを搭載したPCが必要です。ノートPCでこの条件に合う機種は数多くあるのですが、タブレットタイプではFZ-G1が性能を満たして、屋外での使用にも適していたため、採用いたしました。また、この用途ではCPUを高負荷で連続動作させる必要があり、放熱ファンが搭載されていて長時間使用時でも安定動作する点も決め手となりました。

採用のポイント

ポイント1

USB3.0インターフェース搭載

ポイント2

Intel core i5プロセッサ搭載

ポイント3

防塵・防滴設計

タフパッドとの組み合わせで実現するメリット

従来、据え置き型のスペクトラム・アナライザは高速かつ高性能ですが、持ち運びには適さず、ポータブルタイプのスペクトラム・アナライザは処理能力の不足により測定に時間がかかり、屋外での測定効率を上げることができませんでした。

USBスペクトラム・アナライザとタフパッドの組み合わせによりポータブルでありながら、高速なリアルタイム測定が可能になりました。

「USBリアルタイム・スペクトラム・アナライザ」についての詳細は下記よりご確認ください。

<http://jp.tek.com/spectrum-analyzer/rsa306-usb>

本紙の情報は、TOUGHPADで動作実績のあるソリューションを紹介させていただくものです。

パナソニック株式会社で、表記のソリューションの動作を保証するものではありません。また、各ソリューションの詳細内容は、ソリューションを提供する各社にお問合せください。

このチラシの記載内容は2016年4月現在のものです。 JPN16DUSB17C